

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(花コンサート)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		中澤	65355	

事業の概要

事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 コンサートの開催に向けた企画・運営を行う。プロなどの音楽家によるコンサートを気軽に楽しめる機会や、本格的なホールでのコンサートを提供する。						
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
実施期間	平成16年	—					
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,000	929	891	890		
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	1,000	929	891	890	

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ● 音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ● 音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● プロなどの音楽家によるコンサートを区役所1階ロビー等にて行う(花コンサート、年10回) ● 通常のコンサートに来られない方への音楽鑑賞機会の提供(大きな花コンサート、年1回) ● 新たな客層への音楽鑑賞機会の検討等

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	・区役所ロビーでのコンサートを9回実施(5/24、6/28、7/26、8/28、9/27、11/22、12/20、1/24、2/28) ・大きな花コンサートを高津市民館大ホールにて実施(10/23) ・かながわサイエンスパーク(KSP)にてコンサートを実施(3/21)					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	大きな花コンサート来場者数	目標 実績 664	700 679		人
	2 成果指標	花コンサート in KSP 来場者数	目標 実績 400	500 270		人
	3 活動指標	大きな花コンサート開催回数	目標 実績 1	1 1		回
	4 活動指標	花コンサート開催回数	目標 実績 10	10 10		回

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区内にある多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供し、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。そのための一環として、区役所等公共施設において、コンサートを実施する。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成27年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	対象が区役所に集まる区民ということから客層が固定化傾向にあった。ビジネスマンや地域の方など新たな客層を取り込むために、平成27年度からかながわサイエンスパーク(KSP)での開催を実施している。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の音楽文化の振興という意味で役割を果たしていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	大きな花コンなど応募者数の増加から、成果は順調に上がっていると考えられる。(KSPでは雨のため客足は延びなかった。)	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現状の予算でも厳しい状況ではある。事務については、委員で分担できないか検討を進めていく。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平日の昼間のコンサートであるため来場者の固定化が懸念されるため、KSPのような様々な客層が見込める施設での開催を続け、より多くの区民にゆとりと安らぎの時間を提供していく。出演者からの意見も参考にし、曲目などコンサートの内容がマンネリ化しないよう検証・見直しをしながらの継続を目指していく。また、平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施していく。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称	
款	項	目	大	中	小	
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業(高津区民音楽祭)
担当			所属コード	所属名	担当者	連絡先
			671700	地域振興課	廣岡	64356

事業の概要

事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 高津区民音楽祭に向けた企画・運営を行い、運営委員会や参加グループミーティングを通じて参加する市民音楽グループ同士の交流を図り、企画や準備段階から携わる参加型の高津区民音楽祭を開催する。						
	実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費		
	平成2年	—					
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。						
	予算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度
		事業費	1,125	1,031	1,247	1,246	
財源内訳	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	1,125	1,031	1,247	1,246		

計画 (Plan)

事業の目的	地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	音楽に造詣の深い地域団体と市民が協力して企画運営を行い、参加する市民音楽グループが企画運営や準備に携わる参加型音楽イベントを中心とした高津区民音楽祭を開催する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	今年度は出演団体数を増やすために、行政施設の他に民間のスタジオへも参加団体募集チラシの配架も行った。 会場①:川崎市民プラザ屋内広場 11月26日(土)16時~20時 ●参加グループ 9 ●来場者 約250人 会場②:高津市民館大ホール 12月10日(土)14時~16時30分 ●参加グループ 5 ●特別企画 1 ●来場者 約400人 12月11日(日)14時~17時 ●参加グループ 13 ●来場者 約600人					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	参加団体数	目標	23		団体
			実績	23	28	
	2 成果指標	区民音楽祭来場者数	目標	1,450		人
			実績	1,450	1,250	
3		目標				
4		目標				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区内の多様な音楽事業を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	自分たちの活動の場として参加するグループが多いため、ゲスト枠を廃止し、参加団体、来場者皆で歌えるコーナーを作った。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	今年度は昨年度より団体数が増えており事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	来場者アンケートの結果は全ての日程で満足度は上がっており、バンド日程に関しては、約20%上昇した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	音楽祭当日の参加団体の役割の変更や、広報の協力など改善を進めていく。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	より多くの区民が親に行きたいと思うような事業になるよう、平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRに向けて関係部署と調整を行い、開催・変更結果の検証を行いながら改善していく。また、29年度は来場者数を増やすための広報の方法を検討していく。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(子どもの音楽文化体験)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		中澤	64355	

事業の概要

事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 子どもたちが本物の音楽文化に触れる機会を提供すること、これにより音楽文化を生み出す心を育むことを目的に、音楽鑑賞体験及び演奏体験ワークショップ等を実施する。							
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
実施期間	平成18年	—						
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。							
	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
予決算 (単位:千円)	事業費	1,367	1,309	1,651	1,650			
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
		その他特財			300	281		
		一般財源	1,367	1,309	1,351	1,369		

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。 保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所での音楽体験:こども文化センター等への演奏者派遣 1回×7ヶ所 家族単位による音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学内で開催される公演への無料招待 1回 ホールでの音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催 1回(2回公演) 演奏体験ワークショップ:小学生を対象とした打楽器演奏体験 1回(練習3回+発表) 音楽体験を通じた子どもの情操教育:未就学児を対象としたリトミック体験 1回

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> こども文化センター及び小黒恵子童謡記念館プレオープンコンサートへの演奏者派遣(8/30高津、10/11上作延、11/4東高津、12/21子母口、12/27末長、2/26童謡記念館、3/22榎ヶ谷、3/23二子) 洗足学園音楽大学内で開催される公演への無料招待を2回実施(11/11着ぐるみ人形劇「ぐりとぐら」、11/27楽器の王様「パイプオルガンに会いに行こう!」) ホールでの音楽鑑賞体験:子どもから楽しめるオペラ「泣いた赤鬼」の実施(9/3) 演奏体験ワークショップ:小学生を対象とした打楽器演奏体験(練習:11/16、11/30、12/7、発表:12/10) 音楽体験を通じた子どもの情操教育:未就学児を対象としたリトミック体験実施(1/29) 					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	成果指標 オペラ公演「泣いた赤鬼」来場者	目標	1,000		人
			実績	818	604	
	2	活動指標 こども文化センター等への演奏者派遣	目標	8		回
			実績	7	8	
3	活動指標 洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催	目標	1		回	
		実績	1	1		
4	活動指標 未就学児を対象としたリトミック体験	目標	1		回	
		実績	1	1		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	都市化に伴い子育て世代が増加傾向にある中、個性と魅力にあふれ愛着がもてるまちづくりを推進するための一つの方法として、区内の多様な音楽資源を活用し、子どもたちに本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに地域の音楽文化の振興を図る必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成27年度より、未就学児を対象に親子リトミック体験会を実施している。今年度は前年度の反省点もふまえ、年齢層に合わせて1クラス増の4クラスを設けた。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	変化に応じ、新規企画を立ち上げるなど柔軟に対応している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	過渡期にある事業もあるが、ニーズのある新規立上げの事業も行ない全体としては成果が上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現状の予算でも厳しい状況ではあるが、事務については実行委員で分担できないか検討する余地がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	オペラは客数が前年に比べ減少しているが、子育て世代に合った募集方法を再度検討する。事業全体として、各イベントごとに来場者にアンケートによるニーズ調査を実施し、マンネリ化しないよう検証・見直しをしながら、事業全体でよりよい形を目指していく。また、平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRIに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施していく。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(高津ウインターコンサート)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		中島	814-7603	

事業の概要

事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 高津市民館ホールで、プロの音楽家と日ごろ地域で活動しているアマチュア演奏家で構成するウインドオーケストラによるコンサートを開催し、区民が身近な地域で良質なクラシック音楽を気軽に楽しむ機会を提供する。						
	実施期間	事業開始年度 平成26年度	事業終了年度 —	予算中事業 地域資源活用事業費			
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	440	435	440	440		
	財源内訳						
	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	440	435	440	440		

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ● 音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ● 音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	プロの音楽家や地域で活動しているアマチュア音楽家の出演による本格的なクラシックコンサートを開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	3月20日(月・祝)に開催。全1回。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	コンサートの実施(参加人数)	目標	430		人
			実績	388	364	
	2 成果指標	コンサートの実施(満足度)	目標	80		%
実績			—	96		
3		目標				
4		目標				
		実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	音楽のまちづくりの推進に向けて、身近な施設で気軽に多様なジャンルの音楽に触れる機会を創出することが必要となっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 28 年度 ■ 今後実施(平成29年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成28年度に区民がより参加しやすくなるよう、チケット代金を見直した。また、平成29年度から、事業名称を「高津クラシックコンサート」に変更することで、事業内容が明確に伝わるよう見直す。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年一定の参加者を得ており、ニーズが数値として現れていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高い満足度やリピーターの存在から、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRIに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施していく。また、平成29年度から、事業名称を「高津クラシックコンサート」に変更することで、事業内容が明確に伝わるよう見直す。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(サロンドEコンサート)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		水野	814-7603	

事業の概要

事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 市民が企画・運営に関わり、手作りのコンサートを開催します。主に地域の人材・団体に出演を依頼し、談話コーナーを活用した申込不要のサロンドEコンサート、子どもとその保護者を対象とするおやこEコンサート、大ホールを利用したホールEコンサートを開催する。							
	実施期間	事業開始年度 平成23年度	事業終了年度 —	予算中事業 地域資源活用事業費				
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民コースに即したコンサート等を開催している。							
予決算 (単位:千円)	年度		H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		354	354	354	354		
	財 源 内 訳	国庫支出金						
市債								
その他特財								
一般財源		354	354	354	354			

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ● 音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ● 音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● サロンドEコンサート:高津市民館談話コーナーでの月1回(6月~1月)のミニコンサート ● ホールEコンサート:サロンドEコンサート出演者による年1回のジョイントコンサート ● おやこEコンサート:親子で楽しめる年3回のコンサート

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	● サロンドEコンサート:6月19日(日)、7月17日(日)、9月18日(日)、10月23日(日)、11月20日(日)、12月18日(日)、1月15日(日)。全7回。 ● ホールEコンサート:3月12日(日)。全1回。 ● おやこEコンサート:8月25日(木)、12月8日(木)、2月5日(日)。全3回。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	サロンドEコンサートの実施(参加人数)	目標 実績 587	550 565		人
	2 成果指標	親子DEコンサートの実施(参加人数)	目標 実績 580	550 709		人
	3 成果指標	ホールDEコンサートの実施(参加人数)	目標 実績 560	500 430		人
	4 成果指標	各コンサートの実施(満足度)	目標 実績 —	80 96		%

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	音楽のまちづくりの推進に向けて、身近な施設で気軽に多様なジャンルの音楽に触れる機会を創出することが必要となっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 ■ 今後実施(平成 29 年度) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 平成27年度に、幼児の生活リズムを踏まえ、親子DEコンサートの開催時間帯を午後から午前中に見直した。平成29年度からは、来場者が少なかった夏の親子DEコンサートを見直し、外部評価に基づき、出演者謝礼を一部増額する。		
評価項目			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いずれのコンサートも一定の参加者を得ており、ニーズが数値として現れていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高い満足度やリピーター存在から、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施していく。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課(橋地区担当)		高橋	788-1531	

事業の概要							
事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 プラザ橋にて、小さい子どもからシニアの方まで楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年3回実施。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に、気軽に集い、歌を通して交流が図れる場を提供する。						
	実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費		
	平成25年度	—					
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	287	287	290	290		
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
その他特財							
一般財源	287	287	290	290			

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ● 音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ● 音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	プラザ橋にて、子どもからシニアの方まで楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年3回実施する。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に気軽に集い、歌を通じた交流が図れる場を提供する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	コンサートについては、乳幼児から高齢者まで幅広い参加を得て平均で100名を超える参加となった。アンケートでは、90%以上が「良かった」と回答している。自由記述では、参加型・体験型についての評価が多く見られ、ねらいが受け止められていると思われる。「おはよう！歌の広場」は8月の回が台風で中止となり、12月に振替を実施したが、参加人数は前年度よりさらに増加し、好評を得ている。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	たちばなファミリーコンサート・全3回の実施(合計参加人数)	目標	480	470	469		人
	2 成果指標	おはよう！歌の広場・全10回の実施(合計参加人数)	目標	1,200	1,167	1,436		人
	3 成果指標	たちばなファミリーコンサート・全3回の実施(満足度)	目標	80	80	84		%
	4 成果指標	おはよう！歌の広場・全10回の実施(ニーズの調査)	目標	80	—	80		%

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	新たな居住者の増加やコンサートのニーズの拡大		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成29年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 2歳以上を対象としていた、夏の洗足学園音楽大学のコンサートについて、0歳から参加できる回を設け、参加者の拡大を図る。また、午前には小さいお子さんから参加でき、午後は対象年齢を少し上げて大人の方にも満足してもらえるように対象を分けて実施し、参加者の満足度をさらに引き上げる。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	近隣の宅地化に伴う新たな居住者の増加や、駅から遠い立地条件もあり、事業のニーズは高いと思われる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加人数や満足度の推移から、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	出演者謝礼金等限られた予算で対応をしているため、経費削減は困難である。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRIに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施する。また、コンサート年3回の開催は継続し、地元の洗足学園音楽大学コンサートの回は、学生にとっても貴重な機会であり、企画内容を検討しつつ継続する。他の2回はできるだけ地域の音楽団体・音楽家などを招へいしていく。こどもの声などが気になるとの感想もあったが、来場者に事業の目的を伝えるとともに、席のレイアウトやプログラムを工夫していく。「おはよう！歌の広場」は、平成28年度の参加状況やニーズを踏まえ、引き続き年間10回実施し、シニア世代の地域交流の場としての更なる定着を目指す。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	10	高津区子どもフェア事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		渡邊	64352	

事業の概要									
事業の概要		区内の主要な地域資源である多摩川の河川敷を会場とし、残された豊かな自然環境を利用した催しを実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成4年	—						
地域の課題と現状		都市化が進み、子ども達が地域の自然とふれあいがながら遊べる機会が減るなか、自然とふれあう場を提供すること。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	600	600	600	600			
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源	600	600	600	600					

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちに、自然に恵まれた多摩川で多くの仲間との遊びや創作活動を通じて河川愛護、自然環境を守る大切さを理解させるとともに、仲間作りや子ども同士の触れ合いのなかで子どもの健全育成を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	各団体からの推薦者により構成される運営委員会を組織し、運営委員会を主体に催しを企画・運営をする。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	高津区子どもフェア運営委員会に委託し、8月28日(日)に実施。「どろ船レース」、「うなぎ・ドジョウ・あゆのつかみ取り」等を行った。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	子どもフェア参加人数	目標	1,500	1,500		人
			実績				
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	川崎市内は都市化とともに自然環境が減少しているといわれて久しい。自然とふれあうことは幼少期の情操教育には大切であり、その機会を提供することが求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	都市化が進み、子ども達が地域の自然とふれあいがながら遊べる機会が減るなか、自然とふれあう場を提供する意義は大きい。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	非日常的な経験を通じた親子関係や友人との新たな結びつきを図ることに大きな効果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、実施方法等の改善を進める。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	地域の自然環境である多摩川を通して、様々な動植物と接する機会を引き続き提供する。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	15	「たちばな農のあるまちづくり」推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		松本	64355	

事業の概要								
事業の概要								
推進方針を推進するための5つの行動計画を展開実施する。 ●農業者と区民が協働し、食と農の地域資源を発見 ●地産地消と子どもの食育を結び、次世代に伝える。 ●市民パワーによる地域資源の活性化、ネットワーク化の推進 ●食と農の交流拠点の場の展開 ●戦略的広報の実施								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
		平成21年度	—					
地域の課題と現状								
現在、食に関する「地産地消」「食」について考える「食育」など、社会全体で注目が集まっており、「食」の基盤となる「農」への関心も高まっている。そのような社会ニーズを踏まえ、高津区の橋地区における「農」の地域資源を活用しながら、地元への愛着や誇りを育み、「食」と「農」を活かしたまちづくりの推進が求められている。								
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費		1,400	1,400	1,400	1,400		
	財源内訳	国庫支出金						
市債								
その他特財								
	一般財源	1,400	1,400	1,400	1,400			

計画 (Plan)	
事業の目的	橋地区における地域資源(都市農業、歴史的資源、緑地、各種活動等)を活用した地域活性化
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催(年3回) ●たちばな地区の魅力を発信するファーマーズマーケット「高津さんの市」の久本業医門公園を活用した定期開催と、区内各所での「出張さんの市」の開催等 ●情報発信拠点としての店舗(メサ・グランデ等)の活用、拡大

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	・「高津さんの市」開催 4/19、6/19、8/21、10/16、12/18、2/19 ・出張「高津さんの市」開催 6/5、7/27、10/9、11/5、11/20 ・推進会議開催 4/9、9/11、2/10 ・農作業体験の実施 5/28、7/23、9/24、12/10 ・たちばな風景写真展の開催 ・たちばな風景写真撮影ツアーの開催						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	「高津さんの市」の開催	目標	8		回
				実績	7	11	
	2	活動指標	「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催	目標	3		回
				実績	3	3	
3			目標				
			実績				
4			目標				
			実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		昨今、都市農業への注目が高まるなか、農のあるまちづくりの重要性も高まっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業の体制が概ね確立されたことを踏まえ、受託先について、NPO法人から市民主体の推進会議へ変更しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	都市農業への注目が高まっており、事業に対するニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	直売の魅力や地産地消の社会ニーズを踏まえ、「高津さんの市」開催機会増加から、成果は上がっていると考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	推進会議で役割分担の見直し等について検討を進める必要がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「高津さんの市」などの取組が区民に定着化していることに加え、都市農業が見直されている昨今、農のあるまちづくりの重要性が高まっていることから、引き続き、農業者と区民と行政が協働して取組を行う体制の構築を図る。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	20	高津区総合ガイドマップ作成事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		松本	64355	

事業の概要									
事業の概要		区民が、区に関する基礎的な情報を身近に得られることで安心して日常生活を送れるよう、区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載した総合ガイドマップを作成し、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		区民が安心して日常生活を送れるよう、区に関する基礎的な情報を身近に得られる環境を整える必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,015	906	1,015	906		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源		1,015	906	1,015	906				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民が区に関する基礎的な情報を得て、安心して日常生活を送れるようにする。
今年度の事業の取組内容	区民意見を反映したガイドマップの作成・配付、効果的な広告募集方法の検討

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	ガイドマップの作成 25,000部							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	ガイドマップの作成	目標	25,000	25,000		部
				実績	25,000	25,000		
	2			目標				
				実績				
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	昨今のウォーキングブームに伴い、まち歩きを楽しむ方が増え、ガイドマップの携帯し易さから小型化が求められた。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	アンケート調査に基づき、従来サイズから小型化した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年、地図面や記載情報の更新があるため、ニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	転入世帯以外にも、配付要求があることから一定の成果があったと考える。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	前年度配布部数の検証により、適当な作成部数への見直し検討を継続する。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内施設の変更や掲載情報に関する調査のほか、平成28年度外部評価の結果を踏まえ、市民アンケート(Web・紙)の実施方法を工夫し、その結果に基づいて見直しを行う。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	25	高津区政情報発信事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		蟬川	64121	

事業の概要									
事業の概要		(1)高津区の区政情報を広く区民に周知するため、市政だよりなどの紙媒体だけでなく、インターネット等多角的な広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。ホームページの一部については、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を委託する。 (2)ノクティビジョンに区政情報を載せ、広く区民へ周知を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成21年度	—						
地域の課題と現状		多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,003	1,002	634	518		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財	484		484						
一般財源	519	518	634	518					

計画 (Plan)	
事業の目的	様々な媒体を通じて、区政情報を広く区民に届けることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	(1)ホームページの一部について、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を行う。 (2)ノクティビジョンに区政情報を掲載する。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	(1)CMS外コンテンツ「エコシティたかつ」のホームページについて、委託業者を通じて更新作業を行った。 (2)ノクティビジョンに区政情報を2回掲載した。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	ホームページの更新	目標	1	1	回
			実績	1	1		
	2	活動指標	ノクティビジョンへの区政情報の掲載回数	目標	1	2	回
			実績	0	2		
3			目標				
		実績					
4			目標				
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	平成28年度高津区民生活に関わるニーズ調査をみても、区役所業務への要望として「区の広報の充実」を挙げる区民は多く、より一層の充実が求められている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	武蔵溝ノ口駅にできた「ノクティビジョン」は多くの区民の目に触れる場所にあることから、ノクティビジョンでの区政情報の放映を2回行った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	平成28年度高津区民生活に関わるニーズ調査をみても、「区の広報の充実」を区役所業務への要望で挙げる区民は多く、より一層の充実が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ホームページ、モニター広告、ケーブルテレビなどに加え、多くの人が目にする「ノクティビジョン」での区政情報の発信を行い、一定の効果があつたと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	「エコシティたかつ」ホームページをCMS内コンテンツとすることにより、職員がホームページを更新し、経費を削減することができる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続き、市政だより、ホームページ、モニター広告、ケーブルテレビなどを活用した情報発信を行うとともに、古い情報が残らないようにメンテナンスを行っていく。また、専門的な技術が必要な「エコシティたかつ」ホームページの更新に当たっては、業者に委託して実施していく。たかつタッチビジョンは既存の情報のメンテナンスを行う。今後、外部サイトのウェブアクセシビリティを向上させていく取り組みを進めていく。		

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	30	二ヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		高橋	64123	

事業の概要								
事業の概要		円筒分水修景施設の軽易な清掃や植栽の手入れ、日常的な点検等について、地域住民を中心として組織された管理運営組織(久地円筒分水サポートクラブ)の活動を支援する。 また、植栽の剪定など専門的な業務については、道路公園センターと連携を図りながら、専門業者に委託して実施する。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
		平成22年度	—					
地域の課題と現状		高津区久地に位置する二ヶ領用水久地円筒分水は、川崎市初の国登録有形文化財(建造物)であり、区のシンボリックな存在である。 そこで、平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、区民と協働で良好な状態に保つとともに、地域コミュニティの場としてさらに活用し、地域の魅力づくりを進めていく必要がある。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	548	504	548	493		
		財源内訳						
		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	548	504	548	493		

計画 (Plan)	
事業の目的	平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、引き続き区民と協働で良好な状態に保つ。
今年度の事業の取組内容	(1) サポートクラブとの協働により、月1~2回、1時間程度の美化清掃活動等を実施する (2) サポートクラブのメンバー増員を目的に、一般区民を対象とした体験イベントの開催等を実施する (3) 維持管理に係る専門的な業務について、道路公園センターと連携を図りながら専門業者に委託して実施する

実施結果 (Do)						
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> サポートクラブとの協働による美化清掃活動等を実施(17回) 美化活動体験イベントの開催(2回)、まち歩きガイドの実施(対象400人) 桜の精密診断、剪定の実施 					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	サポートクラブとの協働による美化清掃活動	目標 実績 14	16 17		回
	2 活動指標	一般区民を対象とした体験イベントの開催	目標 実績 0	1 2		回
	3		目標 実績			
	4		目標 実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	桜の推定樹齢が60年を超え、昨今枝折れが頻発している状況であることから、施設の安全確保が求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	サポートクラブの新たなメンバーの確保を目的として、一般区民を対象とした美化活動体験イベントを初開催するなどした結果、9名が増員された。また、サポートクラブの自主的な活動として、市公園緑地協会の助成金を活用した花植えプロジェクトをスタートした。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
評価の理由	高津区役所が区のシンボルとして河川占用している広場を適切に維持管理していくためには、引き続き区民との協働により効率的に事業を推進する必要があると考えられる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
評価の理由	サポートクラブとの協働により効率的かつ効果的に広場を維持管理するとともに、サポートクラブが施設のガイド等を行うことで魅力も発信するなど、一定の成果があったと考えられる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
評価の理由	サポートクラブがより自主的に活動できるような支援手法を引き続き検討するとともに、専門的な維持管理については道路公園センターと協議を行いながらより効率的かつ効果的な手法を検討していく。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続きサポートクラブとの協働により広場を適切に維持管理するとともに、サポートクラブがより自主的に活動できるような支援手法を引き続き検討する。また、専門的な維持管理については道路公園センターと協議を行いながら効率的かつ効果的な手法を検討する。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	35	高津区文化振興事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675750		生涯学習支援課		中島	814-7603	

事業の概要								
事業の概要		高津区内の歴史的・文化的資源を中心に、区民が地域の魅力を再認識する機会を提供するとともに、その魅力を自ら発信するボランティアガイドを養成することで、ふるさと意識の醸成と文化都市・高津の創造を推進する。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
		平成21年度	—					
地域の課題と現状		高津区には、大山街道や市内初の国跡橋樹官街道跡群等、多くの歴史的・文化的資源があります。宅地化の進展等による人口増加傾向、転入者に占める子育て世代の割合の高さ、高い出生数等を踏まえ、まちの魅力、歴史や文化についての再認識を進め、次代に引き継ぎ取り組みを進める必要がある。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	258	258	258	258		
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財	20	20	20	20		
		一般財源	238	238	238	238		

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区内の歴史的・文化的資源を活用し、区民が愛着と誇りを持てるまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	養成講座の開催を通じて「高津のさんぼみち」をガイドする区民ボランティアガイドを養成し、その実践活動の場として、年度末に区民ガイドを活用した「高津のさんぼみちガイドツアー」を試行実施する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	高津のさんぼみちガイド養成講座: 8月2日(火)~12月13日(火)。全8回。 高津のさんぼみちガイドツアー「神奈川道を歩く」: 3月5日(日)							
数値で把握することが可能な取組			指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	成果指標	高津のさんぼみちガイド養成講座の実施(参加者)	目標	20	20		人
				実績	20	20		
	2	成果指標	高津のさんぼみちガイド養成講座の実施(満足度)	目標	80	98		%
				実績	—	98		
3	成果指標	講座実施後の活動希望者数	目標	10	12		人	
			実績	7	12			
4	活動指標	ボランティアガイド活用事業の実施(回数)	目標	1	1		回	
			実績	—	1			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	転出入率が高く、出生数も市内で2番目に高い高津区では、新旧住民による地域資源・文化の継承に向けた取組がより重要となってきている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 ■ 今後実施(平成29年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成27年度に、地域人材の活用による事業推進に備え、高津のさんぼみちボランティアガイド養成講座に特化した。平成29年度から養成講座を修了した区民ガイドボランティアによる「高津のさんぼみちガイド事業」に移行し、併せて必要な研修を進める。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	転出入率や出生率が高い高津区では、地域の魅力を見直し、再発見する機会の提供と区民自ら地域の魅力を発信し、次代に引き継ぐ取組が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民ガイドボランティアが地域におけるガイド活動を始めており、成果が上がったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 平成29年度から養成講座を修了した区民ガイドボランティアによる「高津のさんぼみちガイド事業」に移行し、併せて必要な研修を進める。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	40	大山街道周辺整備活性化事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		廣岡	64355	

事業の概要									
事業の概要	大山街道のまちづくりに関心を持つ人が増えるよう、魅力的な空間創造と計画的かつ総合的な地域活性化のための取組みを、高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用するため策定した高津大山街道マスタープランに基づき、大山街道アクションフォーラム(以下「AF」と表記)を中心に進める。								
	実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
	平成21年度	—							
地域の課題と現状	今年度、伊勢原市で「大山詣」が日本文化遺産に認定されたことから、大山街道は注目を集めている。その大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を生かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが課題である。								
	予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
予算額			決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	事業費	2,430	1,894	2,100	2,066				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2,430	1,894	2,100	2,066				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> AFの継続的な開催を通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、AFの自立的な運営体制を確保する。 大山街道沿道の施設や大山街道が通る他施設など周辺資源との連携により、回遊性ある魅力的なまちづくりを実現する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> AFを企画、開催する(年2~3) 大山街道ふるさと館の多目的活用や新住民の参加促進に係るイベント等を企画・開催する。 多世代交流を促進するイベントとして「二子の渡し」を前年度に引き続き実施する。 沿道他地域と連携したイベントを企画・実施する。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った				
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った				
		3. ほぼ目標どおり					
取組内容の実績等	<p>委託先: 大山街道アクションフォーラム(会議運営等)、NPO法人とどろき水辺(二子の渡し体験)</p> <p>●AF運営委員会の企画によりAFを3回開催(6月15日-19名、9月28日-20名、1月23日-12名)した。6月開催分では武蔵小杉のまちづくりを取り上げ、関連企業・団体・行政の参加を得た。</p> <p>●AFで提案された景観演出の取組みとして、街道沿いの6物件に太鼓幕を設置した。</p> <p>●AFのアイデアを実現するイベントとして、大山街道フェスタ実行委員会やふるさと館と提携を取りつつ、「大山みちまちウォークエンド」を開催した(2月26日、カレーフェスタ2500食販売、絵付けワークショップ40名参加、写真展100名来場、料亭やよいお茶席80名参加、料亭やよいお座敷遊び30名参加)。</p> <p>●二子の渡し体験を開催した(11月3日)。</p> <p>●宮前区と共催で2日間にわたり、公募による大山街道ウォーキングを開催した(10月5日・12日、2区計45名参加)。</p>						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	大山街道アクションフォーラム	目標		3	回
				実績	2	3	
	2	成果指標	宮前・高津ウォーキング(参加人数)	目標		50	人
				実績	55	45	
3	活動指標	太鼓幕の設置物件	目標		5	棟	
			実績	5	6		
4			目標				
			実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	今年度、伊勢原市で「大山詣」が日本文化遺産に認定されたことから、大山街道は注目を集めている。その大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を生かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成25年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	以前はコンサルタントに事業を委託していたが、現在は沿道の住民や企業などで組織されている「大山街道アクションフォーラム運営委員会」でイベントなどを企画・運営しており、住民のニーズにあったイベントを住民の協力の下行われるようになった。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	大山街道の文化的価値が再認識されており、事業に対するニーズは高まっている。また、人口の増加に伴い、交流の活性化が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	イベントの参加人数は増加しているものが多く、住民の交流を促進している。また、今年度で太鼓幕の設置は計17ヶ所となり、景観演出に寄与している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	運営委員会の委員を増やし、多様な意見を反映できるようにする余地がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き、AF運営委員会を中心に事業を推進しつつ、新規委員の獲得や大山街道ふるさと館との連携促進を支援する。また、平成30年度のマスタープラン計画期間終了に向けた成果物を作成するとともに、大山街道ふるさと館指定管理事業との事業の整理を行う。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	45	高津区地域資源ネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		高橋	64123	

事業の概要									
事業の概要		平成23年度に策定した「高津区公共サイン整備指針」に基づき、区民参加ワークショップによる高津のさんぼみちのルート等の見直し、サイン整備及びガイドマップの制作を進める。また、溝口駅南口広場の整備に合わせて設置される総合案内サインのデザインを検討するとともに、区内の既存公共サインの表示内容の更新を進める。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		高津区の歴史・文化・自然などの地域資源を結ぶ高津のさんぼみち(6コース)については、案内サインが設置されていない、経路が複雑である、詳細なガイドマップがないといった課題がある。また、高津のさんぼみちが設定されていない地域もある。溝口駅南口広場整備にあわせて総合案内板が整備される予定である一方、既存公共サインは表示内容が古い、デザインが統一されていない等の課題がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
		事業費		4,050	3,194	3,000	2,995		
		財源内訳							
		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源		4,050	3,194	3,000	2,995		

計画 (Plan)	
事業の目的	(1) 高津区公共サイン整備指針に基づく高津のさんぼみち6コースの見直し、ガイドマップ作成及び道標設置 (2) 高津のさんぼみち新規コースの策定 (3) 既存公共サインの改善
今年度の事業の取組内容	(1) 高津のさんぼみち「下作延・上作延コース」の道標整備及びガイドマップ作成 (2) 高津のさんぼみち新コース(仮称)「江川・神庭緑地コース」の区民参加ワークショップ開催等 (3) 溝口駅南口広場周辺における既存公共サインの表示内容の更新

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> 高津のさんぼみち「下作延・上作延コース」の道標整備(3ヶ所)及びガイドマップ作成(3,000部) 12月22日、(株)ナビタイムジャパンと覚書を締結し、高津のさんぼみち5コースをアプリ「ウォーキングナビタイム」に掲載(3月1日から利用開始)するとともに、3月18日に連携したウォーキングイベントを初開催した。参加者へのアンケートでは、「また参加したい」が約70%と、好評を得た。 11月20日、高津のさんぼみち新コース「江川・神庭緑地コース」の区民参加ワークショップを開催してルートの決定等を行うとともに、ガイドマップ地図(案)を作成した。 溝口駅南口広場周辺における既存公共サインの表示内容の更新(4ヶ所) 3月1日、溝口駅南口広場総合案内板への広告掲載事業社会実験の開始(10月14日、広告掲載契約を締結) 						
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
1	活動指標	高津のさんぼみちワークショップの開催	目標		1			回
			実績	1	1			
2	成果指標	高津のさんぼみちガイドマップ作成	目標		3,000			部
			実績	3,000	3,000			
3	活動指標	高津のさんぼみち道標設置	目標		3			箇所
			実績	4	3			
4	活動指標	既存公共サインの改善	目標		4			箇所
			実績	0	4			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> 公有財産の有効活用による公共サインの持続可能な維持管理の取組みが全国的に進んでいる。 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて公共サインの多言語化が求められている。 	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新たに設置された溝口駅南口広場総合案内板に民間広告を掲載する事業を社会実験として実施することで、広告事業者の負担により当該案内板の維持管理を安定的に行うとともに、広告掲載料を徴収して区内既存公共サインの維持管理費用に充当する。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて公共サインの多言語化が求められており、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高津のさんぼみちについては区民参加による新規コースの策定を行うとともに、ウォーキングアプリへの掲載により新たな周知を図れたことから一定の成果があったと考えられる。また、公共サインの改善についても、多言語表記としたことから一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験(3年間)の効果等を検証しながら本格実施に向けた検討を進めている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
高津のさんぼみちについては、ガイドマップ発行等を踏まえた活用について検討していく必要があると考えられる。また、公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験の効果等を検証しながら本格実施に向けた検討を進める。		

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	50	高津区ふるさとアーカイブ事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		蟬川	64121	

事業の概要								
事業の概要	高津のまちに関する資料(写真・刊行物等)の包括的な収集・整理・蓄積・保存・活用のあり方を定めた「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」に基づき、高津区全体の社会的資産としてそれらの資料の活用を図り、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成、地域ブランディングを進める。							
	実施期間	事業開始年度 平成24年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費			
地域の課題と現状	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。それらの散逸する資料を高津区全体の社会的資産と捉え、収集・整理・保存するとともに、市民・各種団体・行政等さまざまな主体が活用することが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	2,565	2,542	2,506	2,486		
		国庫支出金						
市債								
	その他特財							
	一般財源	2,565	2,542	2,506	2,486			

計画 (Plan)	
事業の目的	高津のまちに関する資料(写真・刊行物等)の包括的な収集・整理・蓄積・保存・活用のあり方を定めた「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」に基づき、高津区全体の社会的資産としてそれらの資料の活用を図り、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成、地域ブランディングを進める。
今年度の事業の取組内容	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトの運用 (2) 古写真を活用したワークショップの開催とスマートフォンアプリへの成果の反映 (3) 平成24年度に発行した区制40周年記念誌の販売 (4) 収集した古写真を活用した「アーカイブ写真展」の開催 (5) おはなしアーカイブの実施

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用(約3,000点の写真を公開及び新規に250枚以上登録・公開)。 (2) 高津区ふるさとアーカイブワークショップ(久末地区)を開催(委託先: トータルメディア開発研究所) 実施日: 平成29年3月5日(日) 参加者: 11名。成果をスマートフォンアプリ「たかつぶらり」に登録。 (3) 40周年記念誌を53冊販売した。 (4) 区役所1階市民ホール、マルイ溝口店、高津市民館で「アーカイブ写真展」を実施。また、橋出張所の常設写真を追加。 (5) 子母口・明津・蟹ヶ谷・久末・野川地区の20人に話を聞き、冊子にまとめたほかホームページにアップした。 (6) 新たに「につぼん風景ナビ」アプリに100枚以上写真を登録し、 아이폰ユーザー以外にも楽しめるツールを提供。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	ワークショップの開催	目標	1			回
			実績	1	1		
	2 成果指標	記念誌の販売	目標		50		冊
			実績	56	53		
3 活動指標	写真展の開催	目標		1		回	
		実績	0	3			
4 活動指標	おはなしアーカイブの実施	目標		20		人	
		実績	15	20			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 28 年度 ■ 今後実施(平成29年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	アーカイブ資料の活用方法として、写真展を3回開催した(H28)。また、ワークショップ委託を特命随契から指名競争入札へ変更、委託料を減額する(H29)。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津のまちに関する各種資料が年々地域から消えつつあり、それらの散逸する資料を区役所が収集・整理・保存することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	古い資料を継続して収集・整理・保存し、ホームページで公開するほか、写真展・ワークショップの開催などを通じ、高津区の魅力を発信した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ワークショップについて、より多くの区民に届くよう実施手法について検討する。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	デジタルアーカイブの安定的な運用を通じて、高津区の地域資料を継続的に収集・整理・保存し、写真展の開催などを通じて郷土愛を醸成していく。また、市政100周年等の新たな節目に向けてアーカイブの充実を図っていく。ワークショップについては、より多くの区民に届く形になるよう実施手法を検討し、収集⇄活用のサイクルを定着させていく。